

社会福祉法人 南足柄さつき会

平成 28 年度 事業報告・決算報告

2016（平成28）年度 社会福祉法人 南足柄さつき会 事業報告

一人一人を大切に 心こそ大切なれ

法人本部 事業報告

1. 事業概要

障がい者が「その人らしく」地域社会の中で自立した生活を営むことの支援を目的として、当会が運営する第2種社会福祉事業である障がい福祉サービス事業（就労継続支援B型・相談支援事業・地域活動支援センター事業）の円滑な経営に努めました。

社会福祉法の改正による課題とともに、当法人に見合った今後の事業展開を検討していくことを目的とした法人役員、職員等からなる「社会福祉法人南足柄さつき会事業あり方検討委員会」を設置し、「ワークピアさつき」と「自立サポートセンタースマイル」の2事業所の運営を見直すとともに、今後の法人の在り方について協議し、将来の事業展開について提言を受けました。

行政への要望活動として、市長との意見交換の場を設け、市が進めている「公共施設の見直し」について、当会の「りんどう会館」及び「おかもと福祉館」の利用料や継続使用等の意見申し入れを行いました。

今回の社会福祉法の改正の課題でもある組織強化に関しては、定款変更をはじめ、評議員選任・解任委員会を設置、開催し、新たな評議員を選任し法改正後の体制整備をいたしました。

会計経理については、「社会福祉法人会計基準」に則り、委託契約した会計事務所と協議し、専門的なアドバイスを受けながら、会計処理の明確化、正確化、効率化、透明化を図りました。

人事管理、人材育成については、「社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）」施行により職員等の個人情報管理のため「個人情報保護規程」「雇用管理情報保護規程」等、管理に関する規則を定め、委託している社会保険労務管理事務所と連携し、有給休暇の取扱いの明確化等、職場環境の改善、福利厚生の実施に取り組みました。

職員研修については、平成28年7月26日に発生した「やまゆり園事件」を機として特に人権や虐待防止等の研修受講を促し、権利擁護についての認識を深め、人権に配慮した利用者支援に努めることなど、職員の資質向上を図るとともに業務内容の質的向上を促しました。また、役員及び評議員を中心として事業所見学研修会も開催し、就労支援制度などの学習の場を設けました。

（研修受講状況については、各事業所報告に記載）

地域貢献事業については、今回の社会福祉制度改革は、「余裕財産（内部留保）」は「社会福祉充実残額」としてとらえ、社会貢献活動の実施を義務づける方向でしたが、まだ国の指針が出ておらず28年度の地域貢献事業は見送りとなりました。

2. 役員体制

〈理事・監事〉

・定数：理事6名・監事2名

・任期：平成28年6月1日～※法改正により平成29年度第1回評議員委員会開催日まで

- ・ 理事長：太田ハル
- ・ 理事：中村 淑 ・ 鈴木哲夫 ・ 大石恵子 ・ 川上賢治 ・ 小野塚晃太郎
- ・ 監 事：石川清弘 ・ 山室順司

〈評議員〉

- ・ 定 数：13名
- ・ 任 期：平成28年6月1日～ ※法改正により平成29年3月31日まで
- ・ 評議員：湯川治夫 ・ 笠井 進 ・ 森住敏逸 ・ 中村 勉 ・ 石塚好江 ・ 矢野敏行 ・ 菅原ヒロミ
太田ハル ・ 中村 淑 ・ 鈴木哲夫 ・ 大石恵子 ・ 川上賢治 ・ 小野塚晃太郎

3. 理事会・評議員会の開催

(1) 評議員会の開催

開催日	会場	出席者	内容
平成28年 5月23日(月) 13:00~14:30	南足柄市 りんどう会館 3階共同事務室	評議員 11名 監 事 2名 事務局 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度事業報告 ・平成27年度収支決算について ・監査報告 ・ 役員改正
平成28年 6月29日(水) 13:30~15:00	南足柄市 りんどう会館 3階共同事務室	評議員 13名 監 事 2名 事務局 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・「南足柄さつき会事業あり方検討委員会」について
平成28年 12月15日(木) 13:30~14:30	南足柄市 りんどう会館 3階共同事務室	評議員 10名 監 事 1名 事務局 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・定款変更の審議承認 ・評議員選任 ・解任委員会運営細則の承認、委員選定及び委員会開催日程 ・委託事業「地域活動支援センター自立サポートセンタースマイル」及び「相談支援事業」の廃止及び定款変更について ・「積立金管理規程」について
平成29年 3月23日(木) 13:30~14:30	南足柄市 りんどう会館 3階 共同事務室	評議員 12名 監 事 2名 事務局 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・南足柄さつき会事業あり方委員会提言について ・定款変更に伴う規程の改廃 ・平成29年度事業計画(案) ・平成29年度収支予算(案) ・施設長人事 ・社会福祉法改正に伴う評議員の選任について ・定時評議員会の開催時期について

(2) 理事会の開催

開催日	会場	出席者	内容
平成 28 年 5 月 23 日 (月) 14:30~15:00	南足柄市 りんどう会館 3 階共同事務室	理事 6 名 監事 2 名 事務局 2 名	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度事業報告 平成 27 年度収支決算について 監査報告 役員改正
平成 28 年 6 月 9 日 (木) 14: 00~15:00	南足柄市 りんどう会館 3 階中会議室 B	理事 6 名 事務局 2 名	<p><代表互選会議></p> <ul style="list-style-type: none"> 理事長(代表理事)、副理事長(職務代理)の選定について
平成 28 年 6 月 29 日 (水) 14:30~15:00	南足柄市 りんどう会館 3 階共同事務室	理事 6 名 監事 2 名 事務局 2 名	<ul style="list-style-type: none"> 「南足柄さつき会事業あり方検討委員会」について
平成 28 年 12 月 15 日 (木) 14:30~15:00	南足柄市りんどう会館 3 階 共同事務室	理事 6 名 監事 1 名 事務局 2 名	<ul style="list-style-type: none"> 定款変更の審議承認 評議員選任・解任委員会運営細則の承認、委員選定及び委員会開催日程 委託事業「地域活動支援センター自立サポートセンタースマイル」及び「相談支援事業」の廃止及び定款変更 「積立金管理規程」について
平成 29 年 3 月 23 日 (木) 14:30~15:00	南足柄市 りんどう会館 3 階共同事務室	理事 6 名 監事 2 名 事務局 2 名	<ul style="list-style-type: none"> 南足柄さつき会事業あり方委員会提言について 定款変更に伴う規程の改廃 平成 29 年度事業計画(案) 平成 29 年度収支予算(案) 施設長人事・評議員の選任について 定時評議員会の開催時期について

(3) 監事(監査)

開催日	会場	出席者	内容
平成 28 年 5 月 12 日 (木) 13:30~15:00	南足柄市 りんどう会館 3 階小会議室	監事 2 名 事務局 2 名	法人監事による会計及び事業監査

4. 会議の開催

(1) 南足柄さつき会事業あり方検討委員会

回	開催日時・場所	主な検討内容	出席委員
第1回	平成28年7月7日(木) 13:30~15:10 南足柄市りんどう会館 3階 中会議室A	<議事> (1) 南足柄さつき会事業の現状と課題について ①事業体制の見直しと将来の在り方 ②福祉法改正への対応 (2) 委員会の持ち方・委員研修	6名
第2回	平成28年9月15日(木) 13:30~15:50 南足柄市りんどう会館 3階 共同事務所	<議事> (1) さつき会中長期計画について (2) 社会福祉法人制度改正準備について (3) 役員研修について <報告事項> (1) 法人改正研修会参加報告	6名
研修会	平成28年10月11日(火) 13:30~15:30 (社福) 秦野なでしこ会	<研修> 役員職員合同 (1) 施設見学研修 ・就労継続支援B型「あけぼの」の見学 ・秦野なでしこ会の概要	12名 (委員 5名 理事評議員 4名 職員 3名)
第3回	平成28年10月26日(水) 13:30~15:50 南足柄市りんどう会館 3階 共同事務所	<議事> (1) さつき会事業あり方提言について 提言書組立内容の検討 <研修> 講演「就労継続支援B型事業の概要」 講師：田中直人氏 平塚市地域生活福祉会「スペースセル」所長 <報告事項> (1) 施設見学会報告	5名
第4回	平成28年11月28日(月) 13:30~15:30 南足柄市りんどう会館 3階 中会議室A	<議事> (1) さつき会の基本理念・経営理念について (2) 検討委員会答申書について 提言書の構成案の検討 <報告事項> (1) 社会福祉制度改正説明会開催について	5名
第5回	平成29年1月12日(木) 13:30~15:20 南足柄市りんどう会館 3階 中会議室A	<議事> (1) 検討委員会答申書について 提言書案の検討 <報告事項> (1) 社会福祉制度改革進捗状況について	6名

回	開催日時・場所	主な検討内容	出席委員
第6回	平成29年2月16日(木) 13:30~15:30 南足柄市りんどう会館 3階 中会議室B	<議事> (1) 検討委員会答申書について 提言書最終案の検討 <報告事項> (1) 社会福祉制度改革進捗状況について (2) 今後の法人の動きについて	5名

5. 職員体制

(平成29年3月31日現在)

	ワークピアさつき	自立サポートセンタースマイル
所長(常勤)	1名(社会福祉士・精神保健福祉士)	1名(精神保健福祉士・相談支援専門員)
常勤職員	2名	3名(内有資格:社会福祉士と精神保健福祉士・相談支援専門員 2名)
非常勤職員	7名(内1名:看護師)	1名(保健師) ※ 電話相談担当
他、事務局	非常勤 1名(精神保健福祉士)	

6. 事業内容

(1) 障害福祉サービス事業所の運営

- ① 法人として2事業所の経理事務、職員人事労務管理等を行いました。
- ② 福祉サービス事業所指定更新申請を行いました。
- ② 2事業所の月例職員会議に理事長、事務局長が出席し法人からの連絡、職員との情報交換等を行い事業運営の円滑を図りました。

(2) 財務管理

- ① 法人会計基準改正に伴い、委託先であるYMG林会計事務所と共に、透明性のある経理、財務管理に努めました。
- ② 「積立金管理規程」を策定し積立金の在り方を明確にしました。

(3) 人事労務管理

- ① 委託先である栗原社労士事務所と連携し、適切な労務管理に努めました。
- ② マイナンバー制度に係る諸規定を制定しました。
- ③ 理事長と事務局長対応で職員の個別面談を実施しました。また随時職員と面談する機会を設け職員の意見聴取に努めました。
- ④ 健康管理:8月に常勤職員の定期健康診断及び11月に全職員のインフルエンザ予防接種を実施しました。
- ⑤ 職員採用:ワークピアさつきの常勤1名が10月31日退職。欠員を生じた事業所職員の採用面接を実施し、非常勤1名を8月に採用しました。

(4) 人材育成

- ① 職員の資質向上のために、内部、外部研修に職員の職務内容や経験年数に応じた内容で適宜受講しました。
- ② 本部企画研修として、役員や職員を対象として他事業所の見学研修会を1回開催しました。
- ③ 研修報告や振り返りとして、受講した研修内容について報告書を法人本部に作成提出し職員会議の場で受講した研修内容の報告を行いました。
- ④ 職員会議の際には、法人本部より、制度の改正や施行される法律、支援の対応資料を作成し説明、配布することで内部研修いたしました。

(5) 要望活動

平成 28 年 8 月 10 日 (水)	要望書提出
「平成 29 年度精神保健福祉に係る要望について」と題し 8 月 10 日に南足柄市長あてで、福祉課へ要望書を提出。 ＜要望内容＞ <ul style="list-style-type: none">・南足柄市福祉課への有資格者配置について・精神障がい者への交通費助成について・障がい者の居住支援について・障がい者の就労支援について・南足柄市りんどう会館の行政財産使用について	
平成 28 年 8 月 23 日 (火)	市長との意見交換会
南足柄市役所 3 階 秘書課市長室において「平成 29 年度への要望事項」に関し加藤南足柄市長との意見交換を実施。 出席者 市：加藤市長・前澤保健福祉部長・岩田福祉課長 法人：太田理事長・中村理事・鈴木理事・小野塚所長・石井事務局長	
平成 28 年 9 月 2 日 (金)	市議会議員へ精神保健福祉施策への協力依頼
南足柄市市議会議員へ「平成 29 年度精神保健福祉に係る要望」書を添付し、福祉施策への協力依頼文書を送付。	
平成 28 年 12 月 15 日 (木)	りんどう会館家賃に関する市長面談
平成 29 年度から発生する行政財産使用家賃負担（りんどう会館・おかもと福祉館）の軽減について市長と協議。法人からは、太田理事長・中村理事・鈴木理事が出席。	

(6) 広報啓発活動

- ① 法人本部から事業所利用者や家族、関係機関団体を対象として、機関紙「南足柄 さつき会通信」を発行し事業所運営の状況や、情報提供等を行いました。

(7) 役員・本部職員研修

① 理事評議員

開催日	会場	出席者	内容
平成28年 6月29日(水)	南足柄市 りんどう会館 3階 共同事務所	理事評議員13名 監事2名 職員5名	<研修> ・(社福)南足柄さつき会の概要 講師:石井事務局長 ・南足柄市・足柄上地域の障がい者支援 について 講師:小野塚所長
平成28年 8月2日(火)	藤沢 ミナパーク	鈴木理事 中村理事	<研修会> 社会福祉法改正について
平成28年 10月11日(火)	秦野市	理事評議員9名 職員3名	<施設見学研修会> 社会福祉法人秦野なでしこ会 就労継続支援事業所「あけぼの」見学
平成28年 10月26日(水)	南足柄市 りんどう会館 3階 共同事務所	理事評議員5名 職員2名	<講義> 講演「就労継続支援B型事業の概要」 講師:田中直人氏(平塚市地域生活 福祉会「スペースセル」所長)
平成28年 12月6日(火)	藤沢 ミナパーク	鈴木理事・大石理 事・山室監事	<研修会> 社会福祉法改正について
平成28年 12月7日(水)	南足柄市 りんどう会館	中村理事	<説明会>県市主催 社会福祉法改正について

② 本部職員

開催日	会場	出席者	内容
平成28年 6月17日(金)	小田原市民 交流センター	石井	スキルアップ研修
平成28年 6月17日(金)	足柄上 センター	石井	権利擁護ネット
平成28年 7月15日(金)	小田原市民 交流センター	石井	スキルアップ研修
平成28年 8月2日(火)	藤沢 ミナパーク	石井・青木	<研修会> 社会福祉法改正について
平成28年 12月6日(火)	藤沢 ミナパーク	石井・青木	<研修会> 社会福祉法改正について
平成29年 1月14日(土)	小田原市 商工会館	石井・青木	<研修会>厚生労働省より福祉の動向、 施策・障がい者の人権について(やまゆ り園事件)

(8) 人権擁護・虐待防止

- ① 今年度も、職員、法人関係者ともに人権や虐待についての研修に重点を置き、内部研修、外部研修共に受講の機会を増やし、人権に配慮した利用者支援に努めました。

(9) その他

- ① 平成 28 年 11 月 11 日(金)「南足柄市障害福祉計画等推進委員会」に石井事務局長出席。
- ② 南足柄市賀詞交歓会に副理事長が出席。
- ③ 行政、関係機関への報告、申請事務等を実施。

平成 28 年度就労継続支援 B 型事業 ワークピアさつき 事業報告

就労継続 B 型事業所として一般企業より仕事の受注を絶やすことなく利用者の方々に作業を提供しました。また作業を通じて、生活のリズムを整え、社会性を養うことで利用者が地域の中で自分らしく生活できるように支援することを目的として支援を行いました。

1. 利用者支援

- ・個別支援計画を作成し利用者それぞれの状況把握し必要とされる支援を実施しました。
- ・個別支援計画に沿った個別面談や必要に応じて随時利用者との面談の場を設けました。
- ・福祉サービス等利用計画の作成担当者や関係機関と連携し利用者支援を行いました。

(1) 就労継続支援 B 型事業 ワークピアさつき（主たる事業所）

ワークピアさつきのメインの仕事場であり、利用者の特性に応じて作業の選択・割り振りを行い、利用者が安心して仕事に励めるような環境づくりや支援を行いました。

(2) 就労継続支援 B 型事業 アースエコー（従たる事業所）

利用者の方が、リサイクル品の販売・接客に従事することを支え、販売スキルの習得等を通じて就労意欲を高め、安心安全に作業できるように支援を行いました。

(3) 仕事サポーターと連携を図り就労に向けた取り組みを実施しました。また、一般就労を目標とした利用者の方々に、他の就労支援施設の見学など研修の場を設けました。

(4) 所外活動として、複数の商店・団体から寄付されるアルミ缶の回収や分別作業を利用者と共に実施しました。また環境フェア・シルバー祭り等、利用者が出店準備や販売物品の搬送などを行い足柄上地域で行われるイベントに出店し、ご寄付いただいた衣類などを販売しました。養護老人施設「草の家」でのバザーを春・秋 2 回行わせていただきました。

- (5) 余暇活動を実施し、利用者の方々の親睦を深め、社会性を高める一助としました。
- 社会見学：千葉県マザー牧場他（11/1） 参加者 33 名（職員含む）
 - スポーツ活動：スポーツを楽しむ会開催（10/14）
 - レクリエーション：クリスマス会（12/12）・近郊の散策（アジサイ祭り・ざる菊鑑賞）・カラオケ（隔月）・お花見会（4/4）
 - 食事会等：月に 1 度、カレーライス会食を実施・食事会（8/17）・忘年会（12/28）・お雑煮会（1/4）
 - 交流活動：県精連主催ボーリング大会（2/24）参加及び精神障がい者体験発表会「ハートメッセージ」（12/2）に参加し、他地域の障がい者の皆さんとの交流親睦を図りました。

2. 運営体制

(1) 職員配置

（平成 29 年 3 月 31 日現在）

		職 種			所 属	
常勤 (3名)	所 長	男	サービス管理責任者	精神保健福祉士 社会福祉士	兼務	ワークピアさつき アースエコー
	職員(A)	女	生活支援員			ワークピアさつき
	職員(B)	女	職業指導員			アースエコー
非常勤 (7名)	職員(C)	男	職業指導員			ワークピアさつき
	職員(D)	女	職業指導員			ワークピアさつき
	職員(E)	女	生活支援員	看護師		ワークピアさつき
	職員(F)	女	生活支援員			ワークピアさつき
	職員(G)	女	生活支援員			アースエコー
	職員(H)	女	生活支援員			アースエコー
	職員(I)	女	事務職			ワークピアさつき

(2) 職員会議

- 毎月、職員会議を開催し、作業上の問題解決・スケジュール調整・現状報告等を行い、利用者支援についてケア会議、情報や知識の修得、課題の共有をはかり、事業運営の円滑化を進めました。

(3) 職員研修

- 援助に必要なスキルの習得、福祉制度の学習、虐待防止、人権擁護等をテーマとした研修を受講し、福祉サービスの向上に努めました。

＜ワークピアさつき 研修受講状況＞

項 目	回数	受講延人数
援助技術に関する研修・講演会 (新人職員研修・発達障害について・障がい者支援について等)	5	10
障がい者権利擁護に関する研修・講演会(差別解消法・虐待の防止等)	3	16
施設見学研修(秦野なでしこ会「あけぼの」)	1	1
合 計	9	27

(4) 個人情報保護管理

- ・パソコン、キャビネットの整備管理等行い個人情報保護に努めました。

(5) 健康管理

- ・利用者及び職員の健康状態に留意し、職員健康診断、インフルエンザ予防対策を利用者に呼びかけ、職員全員の予防接種も実施しました。
- ・利用者の健康管理の一環として低血糖への対応について内部研修を実施しました。

(6) 危機管理・安全管理

- ・利用者の方々と防災についての話し合いや避難訓練を実施し、りんどう会館全体での避難訓練(10/28)に利用者と共に参加しました。

3. 地域連携・地域貢献

- ・就労支援協議会へ職員が参画し、りんどう会館清掃について年間を通じて協議連携。
- ・シルバー祭り参加(10/29) おかもと福祉館清掃協力
- ・「ちいきふくし博」の開催に協力参加。(2/20～2/24)
- ・環境美化週間実行委員会へ職員を派遣し「環境フェア」へ参加協力(6/21～6/25)
- ・精神保健福祉連絡協議会へ職員派遣
- ・自立支援協議会へ施設長出席
- ・看護学校や福祉教育機関からの教育実習を受け入れ福祉人材の育成に協力。
- ・県精連秦野足上ブロック主催のボーリング大会への参加などをつうじて同じ障がいを持つ方々との交流。
- ・社会貢献活動として、ペットボトルキャップ回収作業を実施。

ワークピアさつき 関係資料

＜利用者及び工賃支払状況＞

項目	25年度	26年度	27年度	28年度
開所日数	242日	241日	240日	242日
実利用者数	29名	38名	40名	37名
延利用者数	3185名	3,468名	3,959名	3,779人
1日平均利用者数	13名	14.7名	16.5名	15.6人
延実労働時間	10,531時間	11,519時間	12,799時間	13,146時間
工賃支払総額	2,875,000円	3,394,636円	3,900,810円	3,750,810円
平均月支払額(一人当)	8,765円	9,617円	10,158円	10,686円
平均時間給	273円	295円	305円	285円
退所者(内 就労者)	3名(0名)	7名(1名)	3名(0名)	4名(2名)

参考：神奈川県内の就労継続支援B型事業所実績（調査期間平成27年4月1日～

平成28年3月31日 神奈川県障害福祉課発表資料より）

	事業所数	1か月平均工賃	1時間平均工賃
全 県	554か所	13,704円	185円
県西圏域	399か所	10,302円	151円

＜受注収入状況＞

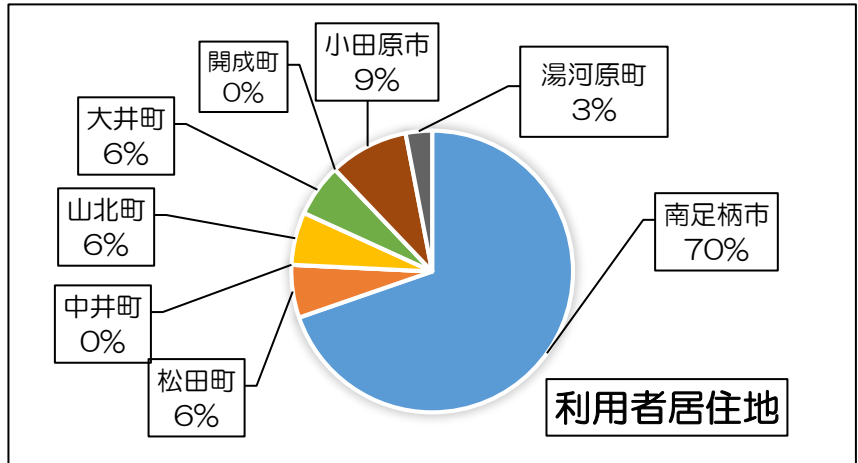
(円)

受注先	作業内容	26年度	27年度	28年度
南開工業	フィルムケース解体・部品組立・個別包装・点検作業	311,709	377,537	296,786
(株)三陽	ウエスの販売	123,000	118,040	110,660
富士フィルム	ウエスの販売	27,972	11,934	16,146
中谷刃物店	ウエスの販売	3,000	0	0
太洋物流	機械部品袋詰・紙箱組立・タオル折・仕切折	400,164	431,324	463,893
東京伊勢タオル	タオル歯磨きセット袋詰	68,170	31,660	39,000
(株)山城屋	菓子箱折り	5,934	32,934	44,610
高部金属	アルミ缶回収	112,500	118,800	107,720
草の家・ふくし博等	バザー	18,950	44,130	34,740
(福)足柄みどりの会	りんどう会館清掃	253,704	251,584	227,871
アースエコー	リサイクル品 販売売上	2,426,326	2,338,031	2,397,302
	アースエコー入会金	99,000	93,000	96,000
合計		3,906,239	3,889,854	3,863,268

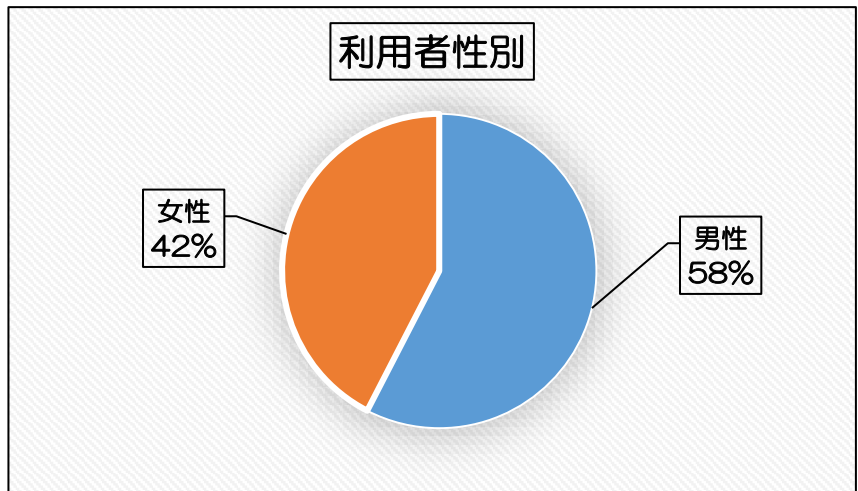
就労継続支援B型ワークピアさつき利用者状況（平成29年3月31日作成）

■ 利用者居住地

南足柄市	松田町	中井町	山北町	大井町	開成町	小田原市	湯河原町	合計
23	2	0	2	2	0	3	1	33

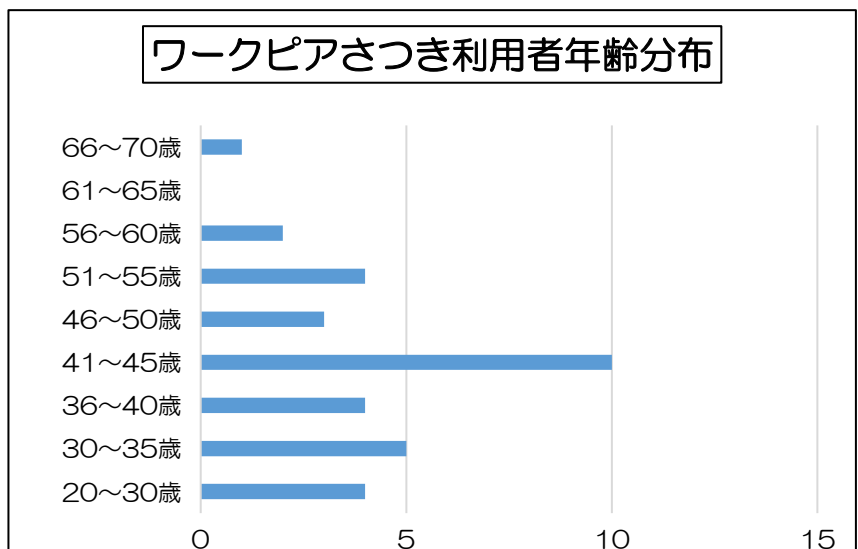


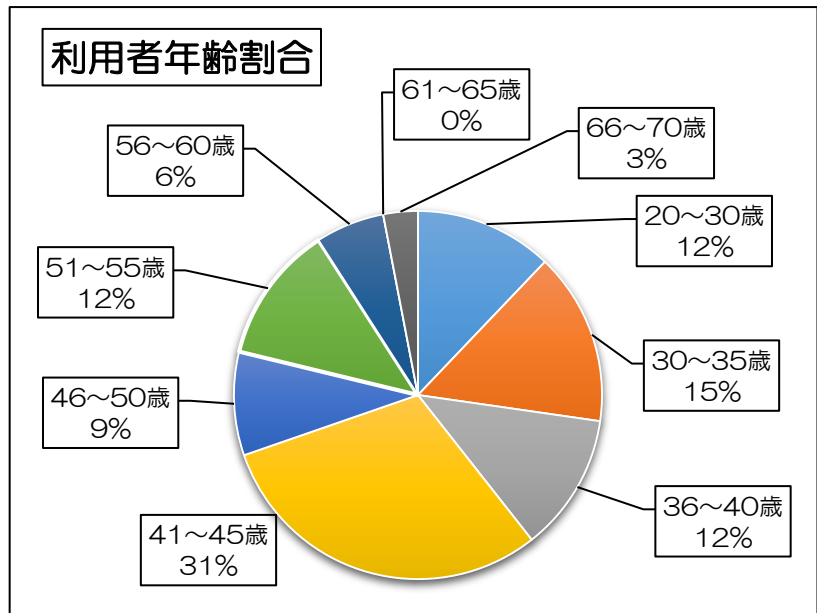
■ 利用者性別



■ 利用者年齢

平均年齢 40 歳
 最高年齢 67 歳
 最少年齢 21 歳



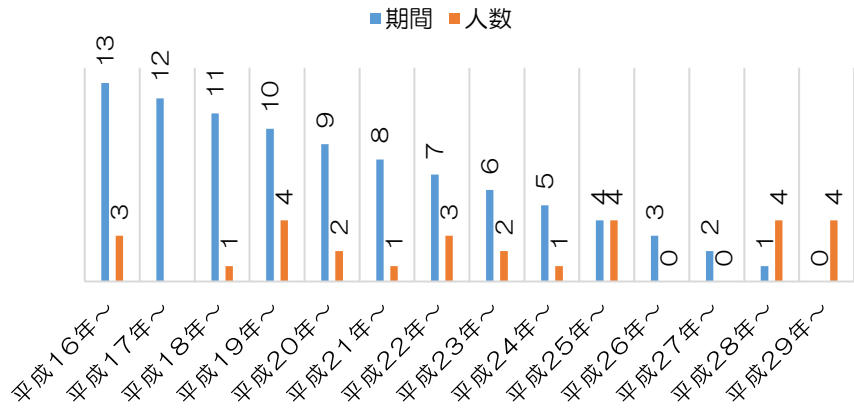


■ 在籍期間

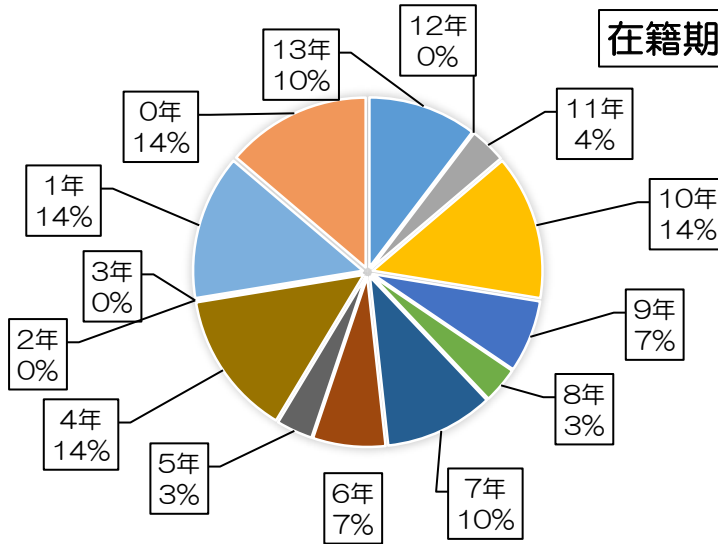
(不明 4名)

	在籍期間	人数計	%	年代別内訳				
				20代	30代	40代	50代	60代
平成 16 年～	13 年	3	10			1	2	
平成 17 年～	12 年	0	0					
平成 18 年～	11 年	1	4			1		
平成 19 年～	10 年	4	14		2	2		
平成 20 年～	9 年	2	7			1		1
平成 21 年～	8 年	1	3				1	
平成 22 年～	7 年	3	10		1	2		
平成 23 年～	6 年	2	7		1		1	
平成 24 年～	5 年	1	3	1				
平成 25 年～	4 年	4	14		2	1	1	
平成 26 年～	3 年	0	0					
平成 27 年～	2 年	0	0					
平成 28 年～	1 年	4	14	1	1	1	1	
平成 29 年～	0 年	4	14	2	2			
計		29	100	4	9	9	6	1

在籍期間と人数



在籍期間割合



1. 事業概要について

地域活動支援センター事業では、フリースペースを活用して、一人一人が主体的に行う自主活動の他、ボランティアの方と一緒にプログラム活動を行いました。新しくご利用を要望される方に対しては、初回面談で現状等具体的におうかがいすることで、その方に合った機能を持つ事業所につなげることも行いました。

相談支援では福祉サービス利用に向けた手伝いや、一人暮らしで不安を持ちやすい方には、定期的な面談を行いました。また退院を目指す入院中の方に対しても、医療機関や行政機関、地域では不動産会社とも連携を取りながら支援を行いました。

ピアサポーターの活動では病院訪問を行って、障がいを持つ当事者という立場から、地域での生活などを入院患者と談話することで、地域生活に対する不安の解消に努め、長期入院患者の退院に向けた支援を行ってきました。また 29 年度から新たに訪問場所に加わる病院とも、打ち合わせを行い準備してきました。

2. 職員配置

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

	職 種			資格	認定調査
常勤	施設長	男	地域活動支援センター・相談支援専門員	精神保健福祉士	認定調査員
	職員 (A)	女	地域活動支援センター 精神障害者地域移行支援・地域定着支援	社会福祉士 精神保健福祉士	認定調査員
	職員 (B)	女	相談支援専門員	社会福祉士 精神保健福祉士	
	職員 (C)	女	事務職		
非常勤	職員 (D)	女	地域活動支援センター	保健師	

3. 運営体制

(1)・スマイル連絡会議の実施

平成 28 年 6 月 9 日 (木) 第 1 回スマイル連絡会

平成 28 年 10 月 25 日 (火) 第 2 回スマイル連絡会

自立サポートセンタースマイルの活動状況、利用者状況等の定期報告を行った。

・運営委員会

平成 28 年 7 月 26 日 (火) 第 1 回スマイル運営委員会

自立サポートセンタースマイルの活動状況、利用者状況等の定期報告を行った。

(2) 職員会議 (毎月 1 回)・職員研修の実施 (随時)

・普及啓発活動として、スマイル講演会やちいき・ふくし博の内容などを検討。

・地域活動支援センター事業で行うイベントについて検討。

- ・ケース会議
- ・その他、通常業務の見直しや改善 等

(3) 各種会議出席、参加

神奈川県、県西地区、南足柄上地区等との地域ネットワークの構築や、情報交換、課題共有など関係機関、団体等との連携協力のため各種会議に出席しました。

(4) 研修受講

より良い福祉サービスの提供や職員の資質、支援スキルの向上を目指し各種講演会、研修会を受講しました。

項 目	回数	受講延人数
援助技術に関する研修・講演会 (相談支援専門員研修・発達障害について・障がい者支援について等)	8	11
障がい者権利擁護に関する研修・講演会(差別解消法・虐待の防止等)	3	5
施設見学研修 (秦野なでしこ会「あけぼの」)	1	2
その他 (法制度について・県知事との対話会等)	3	4
計	15	21

(5) 個人情報保護管理

- ・個人情報保護については、規約を職員間で周知し、個人記録、災害時における個人情報の取り扱いについてなど、管理を徹底してきました。

4. 事業内容

(1) 市・町からの事業

① 相談支援事業(受託事業)

- ・初めて相談されるケースは少ないのですが、精神症状が悪化してる方に対して、医療機関につながるまでの家族相談や対応、また退院後一人暮らしをしていて、状態が落ち着いていない方には定期的に面談など行ってきました。
- ・電話相談では、依存傾向のある方に対しては傾聴による対応を中心に行って来ました。頻繁に電話がある方でも、その日によって会話や口調も変化することがあるので、必要を感じた際には医療機関や関係機関とも連携を取って来ました。また初めて相談をされる方に対しては、本人の困りごとをうかがいながら、地域の福祉サービスなどの情報提供や、医療機関への促し等行いました。

② 地域活動支援センター I 型事業(受託事業)

- ・プログラム活動としては、フリープログラム(自主活動)の場を提供する方向で進め、利用者各自が、仲間と語り合ったり、パソコンを使用したりと、思い思いに過ごせる場所づくりをしました。

<28年度実施の主なプログラム活動>

- ・工芸等の創作的活動、座談会などのグループワークによる支援。
- ・ボランティア登録されている方に協力を頂いて、音楽、書道、お話し会、スプレーアート等をプログラム活動に取り入れ、地域の方との交流の場としても提供してきました。
- ・毎月「女性の日」の日を開催し、座談会では、女性同士の課題を共有し、手工芸や散歩などの時間を過ごしました。
- ・28年度に開催したイベント等

・スマイル夏祭り「夏の終わりを楽しむ会」	9/15
・カラオケ大会	12/23・9/19
・お雑煮会	H29/1/4
・DVD鑑賞	毎月

① 普及啓発活動

<スマイルシンポジウム>

開催月日：平成 28 年 9 月 24 日（土）14：00～16：00

開催場所：南足柄市女性センター3 階研修室

参加者数：83 名

内 容：地域に住んでいる方に、精神障害に対する理解の普及啓発のために実施しました。シンポジウムのテーマは、「～暮らしやすい地域づくり～」、前半は神奈川県精神保健福祉センターより長期入院患者の実態や、ピアサポーターの活動などについて報告。その後一人暮らしをしている 3 名のピアサポーターより地域での生活について話していただきました。後半からはシンポジウムを実施。シンポジストには病院のケースワーカーや、地域で不動産業をしている方にも参加をしていただき、地域での生活の他、入院中の方が地域で生活していくための課題などについても話し合いました。

<ちいき・ふくし博>

開催月日：平成 29 年 2 月 20 日（月）～24 日（金）

開催場所：南足柄市役所アトリウム

来場者数：総来場者 430 名

内 容：足柄上郡にある通所施設などと共催し、普段の活動で作った作品や、その様子などを展示しました。最終日には、各事業所による自社製品の販売なども行いました。

<デザイン画コンクール>

応募期間：平成 29 年 1 月中旬～平成 29 年 1 月 31 日（金）

内 容：足柄上郡に居住されている方、又は施設等利用されている障がいを持った方を対象に絵画の募集をしました。応募作品から、南足柄市長賞、準南足柄市長賞、足柄上郡町村会長賞、準足柄上郡町村会長賞、実行委員賞、スマイル賞を選出し、南足柄市長賞は「ちいき・ふくし博」のポスターに、足柄上郡町村会長賞はチラシのデザ

インとして使用されました。また賞に選出された作品を使用したポストカードを複製し、「ちいき・ふくし博」開催会場で配布しました。全ての応募作品は、期間中に市民ロビーで展示し、一般の方々にも鑑賞していただきました。初日には各賞受賞者に対し表彰式を行いました。

(2) 県からの事業

① 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業（指定事業）

福祉サービスを利用する地域の障がい者・障がい児に対し「サービス等利用計画書」を作成し、関係機関と連携し、適切なサービスが受けられるよう支援しました。また定期的にモニタリングを行い、サービスの調整や再確認を行いながら、本人の状態の確認も行いました。

② 指定一般相談支援事業（指定事業）

24時間支援体制が困難なため、指定一般相談支援事業としては行っていませんが、一般相談として支援してきました。病院からの帰宅訓練時の訪問や、不動産会社と相談をしながら、居住の場の調整を行ってきました。

③ 精神障害者地域移行・地域定着支援事業（受託事業）

ピアサポーター活用により入院中の精神障がい者の退院促進や、退院後の地域生活定着への支援を行いました。

定例会	毎月1回開催。近況報告・病院訪問前の事前検討・講師依頼に対する派遣者の選出・講演終了後のフィードバック等	
会議出席	平成28年度第1回県西障害保健福祉県域障害者自立支援協議会	H28/5/26
	平成28年度第2回県西障害保健福祉県域障害者自立支援協議会	H29/2/27
	平成28年度第1回県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連絡会議	H28/12/14
	平成28年度第2回県西圏域・地域移行のための医療と福祉の連絡会議	H29/2/14
	地域精神保健福祉連絡協議会	H29/2/3
	平成28年度地域移行・地域定着事業支援事業運営委員会	H29/3/10
講師派遣 体験発表	障害認定区分調査委員研修	H28/4/27
	国際医療福祉大学	H28/6/20
	スマイルシンポジウム	H28/9/24
	平成28年度神奈川県精神障害者地域移行・地域定着支援事業研修会	H28/12/2
	平成28年度精神保健福祉地域支援研修	H29/2/6
	語り手派遣活動「障害者に求められる成年後見制度とは」	H29/3/6
	曽我病院家族会研修「ピアサポーターについて」	H29/3/24
病院訪問	北小田原病院 H28/7/25・10/27・11/24・12/15 H29/2/23・3/24	
交流会	当事者交流：精神保健福祉センター、他地域主催の交流会に参加し、意見交換を実施。	
	ピアサポーター交流会(平塚)	H28/9/9
	ピアサポーター交流会(海老名)	H28/9/16
	ピアサポーター交流会(藤沢)	H29/1/20

(3) 危機管理・安全管理

① 事故防止、発生時対応

- ・非常勤職員の対応について、第3者を通じて苦情の申し入れがありました。非常勤職員とは面談を行い、注意勧告をいたしました。申し入れ者に対しては、対応した内容を後日報告し了解を得ました。
- ・虐待防止については、職員会議での話し合いや、虐待をテーマとした研修を受けました。
- ・インフルエンザ等の感染症予防対策について、手洗いの励行、マスクの着用等を利用者へ呼びかけました。

② 防災対策

・避難訓練の実施

日 時：平成28年6月14日（プログラムとして実施）

内 容：地震発生を想定して、訓練を行いました。りんどう会館避難スロープを通り、館外の一時避難所に移動し、安否確認を行いました。訓練前に、焦らないで行動することや安全に移動するために気をつけることなどの講義をしました。

・りんどう会館総合防災訓練に参加

日 時：平成28年10月28日 13:30～14:30

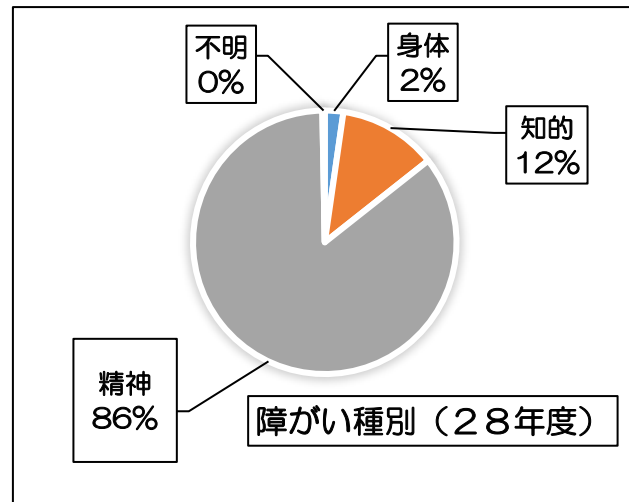
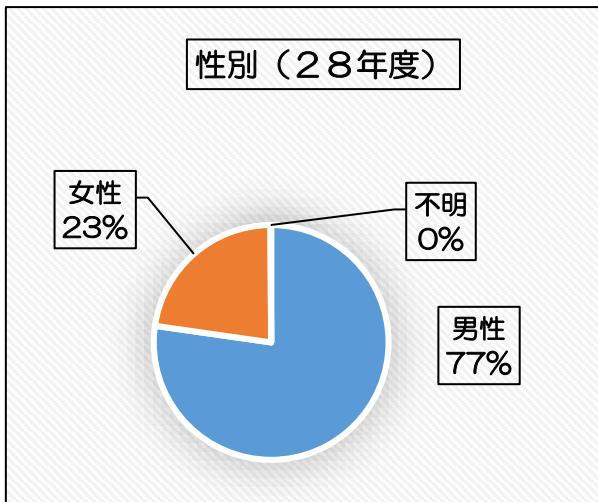
内 容：りんどう会館消防計画第32条の規定により実施される訓練で、りんどう会館内の利用者及び職員が対象となり、火災想定とした訓練で、館外避難後は水消火器による初期消火訓練を受けました。

自立サポートセンタースマイル関係資料

■ 相談支援事業

・相談支援

		26年度		27年度		28年度	
登録人数		183名		180名		181名	
開所日数		300日		278日		250日	
相談総件数（延数）		5,293件		4,188件		2,027件	
1日当たり相談件数		17.6件		15.1件		8.1件	
性別	男性	3,035名	(57%)	2,895名	(69%)	1,566名	(77%)
	女性	2,254名	(42%)	1,293名	(32%)	459名	(23%)
	不明	4名	(1%)	0名	(0%)	2名	(0%)
障害種別内訳	身体	218名	(4%)	76名	(1%)	46名	(2%)
	知的	1,211名	(23%)	557名	(13%)	245名	(12%)
	精神	3,850名	(73%)	3,541名	(85%)	1,730名	(85%)
	不明	14名	(0%)	14名	(0%)	6名	(0%)



・出張相談【平成28年度 実績】

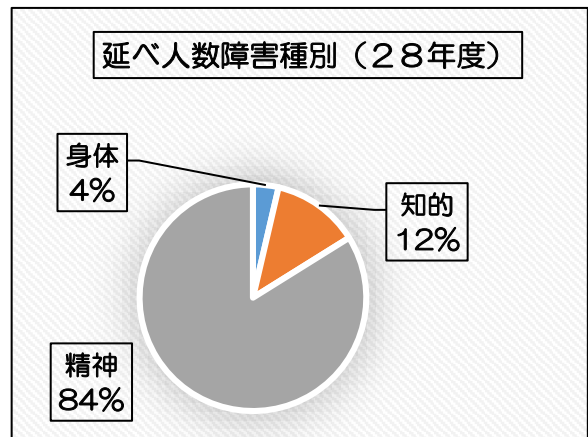
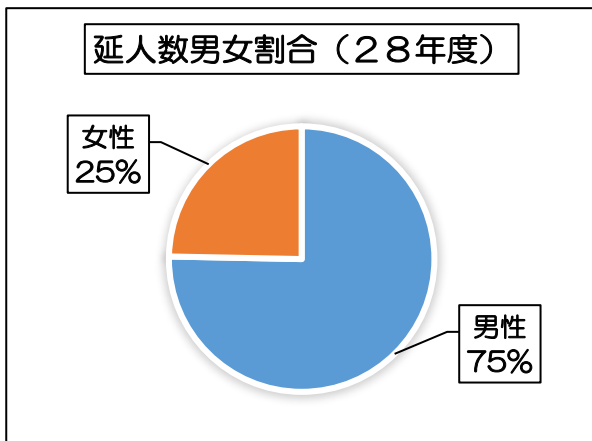
1市5町出張相談						
足柄市	中井町	大井町	松田町	山北町	開成町	計
4名	9名	17名	16名	24名	15名	85名

ケース会議 実施件数
14

■ 地域活動支援センター事業

・登録・利用状況

		26年度		27年度		28年度	
登録人数		166名		162名		163名	
開所日数		301日		277日		254日	
利用総人数(延数)		3,161名		2,313名		1,426名	
1日当たり利用人数		10.5名		8.4名		5.6名	
性別	男性	2,740名	(86%)	1,909名	(83%)	1,074名	(75%)
	女性	421名	(14%)	404名	(17%)	352名	(25%)
障害種別	身体	287名	(9%)	270名	(12%)	52名	(4%)
	知的	510名	(16%)	307名	(13%)	178名	(12%)
	精神	2,364名	(75%)	1,736名	(75%)	1,196名	(84%)



・【平成28年度 普及啓発事業実績】

事業名	開催日	会場	参加状況等
平成28年度スマイルシンポジウム	平成28年9月24日	南足柄市女性センター	83名
デザイン画コンクール	平成28年10月 ~29年1月		応募総数 186点
平成28年度ちいき・ふくし博	平成29年2月20日 ~2月24日	南足柄市役所	430名

■ 県からの委託事業（神奈川県）

・精神障害者地域移行支援事業

個別支援事業		普及啓発事業（延べ人数）		
ケア会議開催	自立支援員派遣	病院訪問活動	関係機関周知活動	ピアサポーター打ち合わせ会
0	0	3回	6回	12日
		ピア21人 スタッフ3人	ピア9人 スタッフ6人	ピア84人 スタッフ15人

普及啓発活動	開催	1回	人数	70人	ピアサポーター派遣人数	2人
--------	----	----	----	-----	-------------	----

【病院訪問】①北小田原病院入院病棟にて「お喋り会」を開催。（年間3回実施）病院スタッフを交えての打ち合わせと、振り返りをその都度実施。②曾我病院にて29年度の訪問活動に向けて研修に参加し、体験発表を行った。打ち合わせに病院スタッフをお招きし、病院訪問・研修に向けて意見交換を行った。（2回）

【関係機関周知活動】①障害認定区分調査員研修、小田原国際医療福祉大学、スマイルシンポジウム、平成28年度精神保健福祉地域支援研修、障害者に求められる成年後見制度とは（県社協主催）に講師としてピアを派遣。

【その他】①月に1回打ち合わせを実施。②精神保健福祉センター、他地域行政機関主催の研修会に参加。③他地域、精神保健福祉センター主催の交流会に参加し活動報告と意見交換を行う。

・指定一般・指定特定事業（神奈川県）

指定特定相談支援事業

利用支援・継続支援（障害者）						
南足柄市	松田町	中井町	山北町	大井町	開成町	計
66件	9件	16件	11件	15件	17件	134

※ 小田原市 1件 厚木市 1件

利用支援・継続支援（障害児）						
南足柄市	松田町	中井町	山北町	大井町	開成町	計
3件	0件	1件	2件	2件	3件	11件

指定一般相談支援事業

地域移行支援	0回
--------	----

■ その他

学生実習受入	看護学生	0名
	福祉大学・専門学校生	0名

社会福祉法人 南足柄さつき会

平成 29 年度 事業計画・予算

社会福祉法人 南足柄さつき会
2017（平成 29）年度事業計画

社会福祉法人 南足柄さつき会

基本理念

「一人ひとりを大切に。心こそ大切なれ」をモットーに、障がい者一人ひとりがかげがえのない大切な存在として尊重し、誰もがその人らしく当たり前に暮らしていける「ともに生きる社会」の実現を目指します。

基本方針

1. 障がい者一人ひとりの尊厳と基本的人権を守ります。
2. 障がい者の意思、自己決定を尊重します。
3. 障がい者が、一人の市民として社会参加ができるように支援します。
4. 職員の人材育成に努め、良質な福祉サービスの提供を目指します。
5. 社会福祉法人として地域社会と連携し、地域福祉の推進に努めます。

法人本部 事業計画

1. 事業方針

社会福祉法人南足柄さつき会の基本理念・基本方針を基に、障がい者が「その人らしく」地域社会の中で自立した生活を営むことの支援を目的として当会が運営する障がい福祉サービス事業の円滑な運営に努めていきます。

平成 28 年 4 月より社会福祉法が改正されました。社会福祉法人の在り方を見直し、理事・評議員の役割を明確化し、業務財務等運営の透明性を確保し、社会貢献をつうじて地域と連携し開かれた法人を目指します。

また、本年度は社会福祉法人として、制度改革に対応できる運営基盤強化、法人の拠点整備等、将来展望を考えていく年となります。法人役員、職員、関係者等と協議連携しながら下記項目を重点課題として取り組んでいきます。

(1) 法人運営事業の見直しと再構築

・「南足柄さつき会事業あり方検討委員会」の提言を受け、3事業運営の見直しを図り、委託事業であった地域活動支援センターⅠ型事業（自立サポートセンタースマイル）を廃止いたします。よって障害者総合支援法に則った、個別給付事業に一本化を図り就労継続支援B型事業と相談支援事業の2事業に集約することとなります。

就労継続支援B型「ワークピアさつき」については、利用者の継続・定着利用を促進し、安定した運営基盤の強化を図ります。また適材適所への職員配置を考え職員の意見を取り入れながら人事管理を行います。

また、相談支援事業については、少数の職員で稼働しなければなりませんが高品質のサービスが提供できる事業所として地域の中で信頼される事業所を目指します。

(2) 組織強化

・評議員、役員の役割、責任の明確化を図り、法人組織の強化と円滑な運営を進めます。社会福祉法改正に伴う透明性のある法人運営を進めるため、委託契約した会計事務所と協議し専門的なアドバイスを受けながら、社会福祉法の改正に伴う会計処理の明確化、正確化、効率化、透明化を図ります。

(3) 法人拠点整備

・「南足柄さつき会事業あり方検討委員会」の提言を踏まえ、また南足柄市の公共施設の見直しに伴い、りんどう会館を拠点とした法人の在り方を見直し、法人本部や事業所等の拠点を整備するために、役員、職員、関係者からなる「南足柄さつき会拠点整備準備委員会（仮称）」を立上げ、安定した事業展開ができる拠点づくりに着手していきます。

(4) 人材育成・研修

- ・職員資質の向上を目指し、経験年数や業務内容に応じた内部外部研修の機会を増やし積極的に受講を促します。
- ・職員の定着を促すために役員との面談などを行い処遇改善に努めます。
- ・また役員、評議員についても、法人運営や事業運営、障がい者支援制度等のテーマで研修や見学会を企画開催します。

(5) 社会貢献・公益的活動の推進事業

・今回の福祉法改正により「この法人は、地域社会に貢献する取組として、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。」との条文が入り社会貢献の役割を果たしていかなければなりません。当会に見合った貢献事業を役員、職員間で協議しながら実現可能な具体的な事業を企画実施していきます。（検討中：神奈川県社会福祉協議会「かながわライフサポート事業」への加盟）

(6) 人権擁護の徹底

- ・職員、法人関係者ともに、人権や虐待防止等の研修を受講し、権利擁護についての認識を深め、人権に配慮した利用者支援に努めます。

2. 会務運営

(1) 役員体制

〈理事・監事〉（新役員については、平成 29 年開催の定時評議員会にて選定）

- ・定数：理事 6 名・監事 2 名
- ・任期：現理事は平成 29 年開催の定時評議員会終結の時退任
新理事は平成 29 年定時評議員会開催日～平成 30 年度会計に関する定時評議員会終結の時まで
- ・理事長：太田ハル（平成 29 年開催の定時評議員会終結の時退任）
- ・理事：太田ハル・中村 淑・鈴木哲夫・大石恵子・川上賢治・小野塚晃太郎
- ・監事：石川清弘・小林重夫

〈評議員〉

- ・定数：7 名
- ・任期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 32 年度会計に関する定時評議員会終結の時まで
- ・評議員：湯川治夫・笠井進・森住敏逸・中村勉・矢野敏行・菅原ヒロミ・小瀬村惇子

(2) 理事会の開催（年度内 2～3回）

- ・開催予定月 第 1 回 平成 29 年 5 月 28 年度事業報告・決算報告
第 2 回 平成 30 年 3 月 30 年度事業計画及び予算
- ・その他必要な場合は、適宜開催

(3) 評議員会の開催（年度内 1～2回）

- ・開催予定月 第 1 回 平成 29 年 5 月 28 年度事業報告・決算報告
- ・その他必要な場合は、適宜開催

(4) 監事による監査の実施

- ・実施予定月 平成 29 年 5 月

3. 事業内容

(1) 第 2 種社会福祉事業の経営（各事業所の事業計画については、後記のとおり）

① 障害福祉サービス事業の経営

就労継続支援 B 型事業（総合支援法による事業）

ワークピアさつき（主たる事業所）・アースエコー（従たる事業所）

② 相談支援事業の経営

自立サポートセンタースマイル（総合支援法による事業・県からの受託事業）

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

精神障害者地域移行・地域定着支援事業・指定一般相談支援事業

(2) 人事管理

- ・雇用継続に向けて1年間の業務の振り返りや、健康状態の把握、次年度への各自の業務目標等について理事長、事務局長が対応し2月～3月に定期職員個別面談を実施します。
- ・各事業所の毎月1回開催の職員会議へ理事長、事務局長が出席し事務連絡、意見交換の場を持ちます。
- ・必要に応じて職員面談を適宜実施し、職員の悩みや意見等を傾聴する機会を設けます。
- ・職員採用については、欠員が生じた際に、各施設長と協議し随時対応していきます。
- ・「社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）」により職員の個人情報について、法令に基づき管理していきます。

(3) 財務管理

- ・委託契約している会計事務所に毎月帳票類の点検を受け、問題点を相談しながら、会計処理の適正化を図っていきます。

(4) 「南足柄さつき会拠点整備準備委員会（仮称）」の運営

- ・「南足柄さつき会拠点整備準備委員会（仮称）」を設け、委員会の開催調整、連絡、事務等の会務を行います。

(5) 安全衛生・健康管理

- ・職員の健康管理に係る定期健康診断を年1回実施し診断結果に基づく医師による事後指導を勧めます。
- ・感染症予防のためインフルエンザ等予防接種を実施します。

(6) その他

- ・行政への要望活動や意見交換の場を設けます。
- ・行政、関係機関への報告、申請事務。
- ・他団体機関の開催行事への参加、協力連携。
- ・講演会研修会等への参加受講。
- ・ホームページ等の広報啓発 等

1. 事業方針・重点目標

利用者一人ひとりの状態や希望にそったサービスを提供し、個々の目標を大切に寄り添い支援していきます。

利用者にとって、「働きがい」「生きがい」を持てる、魅力のある事業所となるように環境を整備し作業内容の充実をはかり、工賃の向上を目指します。

障がいを持たれた多くの方々に利用いただけるように利用者の増員及び利用率の向上に取り組みます。

2. 運営体制

(1) 職員配置

		職 種			所 属	
常 勤	所長	男	管理者 サービス管理責任者	精神保健福祉士	兼 務	自立サポートセン タースマイル兼務
	※職員(A)	男	職業指導員	精神保健福祉士	ワークピアさつき	
	職員(B)	女	生活支援員		ワークピアさつき	
	職員(C)	女	職業指導員		アースエコー	
	職員(D)	女	事務職		ワークピアさつき	
非 常 勤	職員(E)	男	職業指導員		ワークピアさつき	
	職員(F)	女	職業指導員		ワークピアさつき	
	職員(G)	女	生活支援員		ワークピアさつき	
	職員(H)	女	生活支援員		アースエコー	
	職員(I)	女	生活支援員		アースエコー	

※ 職員(A) 29年度採用予定

(2) 職員会議

- 毎朝、職員ミーティングを行い、利用者の状況把握、当日の作業内容、職員各自の行動予定等を確認し連絡調整に努めます。
- 毎月1回、職員会議を開催します。個別計画の内容を職員間で共有し、利用者の現状や課題の報告等、日々の支援に生かしていきます。また作業場の問題解決・スケジュール調整等を行い情報や知識の習得、課題について協議し事業運営の円滑化を図ります。
- 必要に応じて臨機に現場職員の会議を開催し、利用者支援や職場改善など課題に対応していきます。

(3) 研修

- 対人援助に必要なスキルの習得、人権擁護、福祉制度の学習、感染症対策等をテーマとした内部研修や、外部研修を受講し、福祉サービスの質の維持向上に努めていきます。

- ・研修受講報告書を提出するとともに、職員会議などの場で発表し、他の職員とも研修内容の共有を図ります。

(4) 個人情報保護管理

- ・職員間で認識を深め、書類保管什器類の施錠や情報管理体制を常に見直し、維持管理していきます。

(5) 危機管理・安全管理

- ・事業所内の安全面を考慮し、環境整備を図ります。
- ・安心安全に留意し、事故発生時の対応について職員及び関係者が周知し、適正な対応が出来るように情報収集・報告・連絡体制を適宜見直し、維持向上に繋がります。
- ・利用者の方々と防災についての話し合いや避難訓練を行います。また、年に2回行われるりんどろ会館全体での避難訓練に利用者と共に参加します。
- ・防災設備用品等の点検整備を行います。

(6) 地域連携・地域貢献

- ・地域社会との関係を強化し、障がい者への理解を促進するため地域と交流する機会を設けます。地域合同事業への参画や、他の地域で同じ障がいを持つ方々と交流を兼ねたイベント等、地域との交流を目的とした催し物に参加していきます。
- ・看護学校や福祉教育機関からの教育実習生を受け入れ、福祉人材の育成に協力します。
- ・ボランティアや見学希望者も作業や利用者に配慮しながら受け入れます。
- ・社会貢献活動として、ペットボトルキャップ回収作業（南開工業を通じて慈善団体に寄付）を実施し利用者の方々と共に地域の一員として社会に貢献する活動に協力していきます。

3. 事業内容

(1) 生産活動

① 就労継続支援B型事業所 ワークピアさつき（主たる事業所）

ワークピアさつきのメインの仕事場として、利用者の特性に応じ作業の選択・割り振りを行い、利用者が安心して仕事に励めるような環境を築き支援していきます。

<工賃向上への取組>

- ・作業工程のマニュアル化を図る。
- ・作業能力が向上するように技術指導を行う。
- ・作業環境を整備する。
- ・受注製品の品質向上に向けての取組み、製品チェック機能を高める。
- ・新規発注業者、作業の獲得に努める。

<作業内容>

- ・フィルムケースの解体、販促組み立て及び点検…受注先：南開工業
- ・タオル・歯磨きセットの袋詰め…受注先：東京伊勢タオル販売
- ・機械部品類の袋詰め、ワックス収納箱組み立て、タオル折等…受注先：太洋物流
- ・ウエスの作成・販売：販売先…三陽、富士フィルム、ほか
- ・りんどう会館の清掃：りんどう会館（管理者：南足柄社協）より依頼

② 就労継続支援B型事業所 アースエコー（従たる事業所）

リサイクル品の販売・接客に携わることで、利用者が地域の方々とコミュニケーションできる良い場であり、障がい者に対する地域社会の理解が期待される場でもあります。接客や販売スキルの習得等を通じて就労意欲を高め、安心安全に作業できるように支援を行います。

<作業内容>

- ・委託契約を結んだ会員（地域の方々等）が持ち込む、リサイクル衣類や雑貨等の販売、レジ打ち・商品の陳列、回収、整理 等
- ・ウエスの作成。

(2) 利用者支援・相談支援

- ・個別支援計画を作成し利用者一人ひとりの状況把握や必要とされる支援を行います。
- ・定期面談：6か月ごとに個別支援計画の評価・見直しを実施します。
- ・随時面談：必要に応じて随時面談の場を設けます。
- ・家族相談：必要に応じて家族との面談を設け、家庭での様子や事業所での作業態度など情報交換をし、利用者の問題解決を図ります。

(3) 就労支援

- ・一般就労を希望する利用者に対して、情報提供や関係機関との連携を図り、目標達成への支援を行います。

(4) 健康管理

- ・利用者の健康推進、維持に努めます。
作業開始前のラジオ体操や作業の間のストレッチ運動の実施。健康管理の情報提供や勉強会の開催。インフルエンザ等感染症の予防対策を実施します。

(5) 余暇活動

- ・余暇活動を通し、社会性を高め、明日への活力を養い、協働・連携していく気持ちを育みます。
- ・自主活動：利用者ミーティングを定時開催し、活動内容について話し合いながら進めていき、利用者の主体性を重視した活動プログラム作りを目指します。
- ・社会見学：見分を広める目的から、研修旅行・社会見学会を開催します。

- ・レクリエーション：近郊の散策、カラオケ等を楽しむことにより、作業意欲を高めます。
- ・スポーツ活動：運動を通じて体力の向上、健康維持、チームプレーで協調性を養います。
- ・年1～2回程度、利用者同士の交流を目的とした季節ごとの行事（クリスマス会や忘年会等、食事会や外食の機会）を設けます。

（6）所外活動

社会貢献の一環として、複数の商店・団体から寄付されるアルミ缶の回収や分別またエコキャップ運動に利用者が参加します。

相談支援事業所 自立サポートセンタースマイル 事業計画

1. 事業方針・重点目標

本年度は、相談者支援事業所として地域福祉を支える様々な関係者、関係機関団体との連携を図ります。利用者にとって適切な福祉サービス等が受けられるように、自己決定や権利擁護を尊重し、障害福祉サービスの利用調整を行うことにより地域生活を支援していきます。

また、精神科病院からの退院支援や地域生活の安定のため、ピア活動を通じて地域移行支援及び地域定着支援の普及を図ります。

2. 運営体制

（1）職員配置

職 種			資格	
常勤	管理者	男	相談支援専門員 (ワークピアさつき 管理者と兼務)	精神保健福祉士
	職員 (A)	女	相談支援専門員	社会福祉士・精神保健福祉士
	職員 (B)	女	相談支援専門員 (精神障害者地域移行支援・地域定着支援)	社会福祉士・精神保健福祉士

（2）職員会議

- ・職員会議：職員間で情報を共有しながら、課題を整理。利用者のケース検討を実施。
- ・必要に応じて随時開催します。

（3）各種会議・研修等への出席、参加

- ・研修や会議に積極的に参加をすることで、職員の質の向上と同時に、地域の福祉資源を再認識し、福祉サービスの向上に努めていきます。

(4) 個人情報保護管理

- ・個人情報保護について研修を受講し、日々の業務における個人情報の管理、保護の徹底を図ります。また、日頃から防犯・防災その他の緊急時対応における個人情報保護管理については、万全を期していきます。

(5) 障がい者虐待防止や権利擁護の推進

- ・障がい者の権利を守り、安心して生活することができるように、障がい者の虐待の予防と早期発見に努め、障害者虐待防止法に則った対応をいたします。

3. 事業内容

(1) 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業（指定事業）

「障害者総合支援法」に規定される「特定相談支援事業」及び「児童福祉法」に規定される「障害児相談支援事業」業務を通じて、福祉サービスを利用する地域の障がい者・障がい児に対し「サービス等利用計画書」を作成し、関係機関と連携調整しながら、適切なサービスが受けられるよう支援します。また、定期的モニタリングを行っていきます。

(2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

病院・施設から地域生活に移行を準備する障がい者への支援および地域生活定着に必要な相談支援を行います。

(3) 精神障害者地域移行・地域定着支援事業（神奈川県受託事業）

ピアサポーター活用により、入院中の精神障がい者の退院促進や退院後の地域生活定着への支援を行っていきます。

- ・定例会（毎月1回）：近況報告・病院訪問前の事前検討・講師依頼に対する派遣者の選出・講師終了後のフィードバック等
- ・体験発表：医療系大学、家族会、病院デイケア、県の研修 などの場で発表。
- ・当事者交流：精神保健福祉センター他、地域主催の交流会に参加し、意見交換を実施。
- ・勉強会：スキルアップ研修。